

2020年度 清水ヶ丘高校インターアクトクラブの活動報告

清水ヶ丘学園 IAC

はじめに

昨年度は、これまで本校 IAC のクラブ顧問を担当していた教員が、他のクラブの顧問となり、新顧問が担当することとなりました。しかし、その新顧問が今年度より同学園の系列校に異動となり、再び旧顧問が本校の IAC 顧問となりました。この場をお借りしまして、これまでと同様によりよろしくお願いいたします。

昨年度の活動状況について

昨年度(2020年度)は新型コロナによる影響により、これまで活動してきたことが全て中止となり、事実上の活動実績ゼロとなってしまいました。クラブの性質上、対外的な活動が多いので仕方ありませんが、特に昨年度に3学年だった生徒については、最後のクラブ活動の年だっただけに、活動の場を失った生徒の気持ちを考えると非常に残念であります。

その中で唯一活動できたのは、呉南 RC と呉市手をつなぐ育成会との主催で実施されているクリスマス会のボランティアに参加できたことです。この行事についても、当初は開催が厳しい状況にあったのではないかと思います。例年より規模は縮小されたものの、呉南 RC のロータリアンの方々のご支援により、開催することができました。活動自粛を強いられていた生徒たちも、奉仕の精神を存分に発揮できたのではないかと思います。

校内の活動としては、ポリオ撲滅のためのペットボトルのキャップ集めなどの活動は継続できたものの、昨年度は、この行事が対外的には唯一の活動でありました。

これまでの活動について (新型コロナによる影響を受ける前)

新型コロナによる活動自粛の影響を受けていなければ、これまでと同様に次のような活動を予定しておりました。過去の活動例を挙げさせていただきます。

4月	クラブ勧誘
5月	指導者研修会参加 呉子ども祭り 参加
6月	薬物乱用防止キャンペーン 呉から盛り上げ隊 ボランティア
7月	地区大会参加
8月	老人施設慰問 呉市本通り商店街 「土曜夜市」 ボランティア
12月	交通遺児救済募金 呉市手をつなぐ育成会 ボランティア
3月	韓国研修参加

これからの本校 IAC について 清水ヶ丘高校 IAC から清水ヶ丘学園 IAC へ

これまで、長きにわたり清水ヶ丘高校 IAC として、多くのローアリアンの方々や RC 事務局、そして他の IAC 顧問の先生方からもご支援や助言などをいただきながら活動をしてまいりました。

この様に、多くの関係者の方々に支えられて活動をしていく中、長期にわたる少子化、そして新型コロナによる様々な影響など、近年の教育環境の変化を鑑み、これを機に本校 IAC も大きな改革へと乗り出すことといたしました。

清水ヶ丘学園には、清水ヶ丘高校（普通科、総合ビジネス科、看護科、看護専攻科）、と、系列校の呉青山中学校、高等学校があります。全国的にも珍しいかも知れませんが、この両校は同一敷地内にあります。この立地条件を活かすべく、今年度から呉青山中学、高校の生徒にも、清水ヶ丘高校 IAC の活動に参加できるように条件の整備を働きかけました。それにより、呉青山高校にも IAC 担当の顧問を配置し、同一敷地内にあることから合同で例会を開催しています。また、対外的な活動を行う時には、両校を合わせて「清水ヶ丘学園 IAC」として、新たな一歩を踏み出しました。

同じ学園ではありますが、校訓も違えば、教育方針もカリキュラムも違い、クラブ組織も全く違う両校ですが、この2校が共に手を取り合い、共通した IAC の理念と精神に向かって活動することは、非常にユニークであり、また新しい IAC の組織づくりのモデルケースとなるのではないかと思います。

また、コロナによる影響で新しい生活様式へと社会が変化しつつありますが、学校現場も同様です。そしてクラブ活動も例外ではなく、「今まで出来ていたことが、出来なくなった」で終わるのではなく、「この状況下で、どうやったらできるようになるのか」という視点を持たなくてはなりません。これまでも本校の IAC では、運動部、文化部を問わず、他のクラブにも IAC の活動に理解と協力を求め、共同で活動をしてきたこともありました。新型コロナによる影響により、制限を強いられる中でも、知恵を振り絞り、できる限りの活動をしていけるようになればと思います。